



Referee News



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

Gennaio 2019

年4回(1・4・7・10月)発行

今日も地域で頑張っています！！



～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～
2018年9月24日(月)千葉県ブロックレセリーグ(U-11)
～柏レイソルグラウンド人工芝～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判員の方々にスポットを当てて取材しました。今回は千葉県ブロックレセリーグに各ブロックから審判に来ていた皆さまにインタビューをしました。

- ①:氏名(敬称略) ②:審判歴 ③:審判になったきっかけは?
④:審判活動で印象に残っていること ⑤:これだから審判は辞められない審判の魅力とは?



目次

地域で頑張っています！	1～3	認定審査・講習会等のお知らせ	13～14
決勝審判表彰	4～6	休止・降級の方法	14
フットサル研修会報告	7	【連載】打ち合わせって？	15
インストラクター研修報告	8～9	【連載】第4の審判員って？	15～16
昇級審査合格者	9～10	永年表彰のお知らせ	16
ユース研修OB/OGの今	10～13	レフェリーフィットネスコラム	17～18

① :佐々木 健(ささき たけし)

- ② :2009年に4級審判取得、2012年に3級審判取得し、今年で9年目となります。
③ :現在所属しております市原市の石塚FCというチームに子供が入会したことがきっかけで、いわゆるお父さんコーチとしてチームに帯同するようになったことが審判資格取得のきっかけとなります。

当時の石塚FCには大変有望な選手がそろっており、県大会というステージで切磋琢磨する姿が見たいという想いから、県登録チームにふさわしい審判スキル習得を目指し、上級審判取得に挑戦したことを今でも強く記憶に残っております。

- ④ :先日千葉県で行われました2018フジハンカップ関東大会において審判団の一員として全国レベルを体感したことも非常に印象にございますが、最も印象深いのは、3級審判に合格した際の新3級審判員研修会となります。順天堂大学佐倉キャンパス内グラウンドにて2012年度千葉県女子サッカーリーグ戦の公式戦を審判する実践形式で、インストラクターの皆様が見守る中、第一試合の主審を務めました。試合後のインストラクターの方とマンツーマンで約1時間半程度、一連の内容を振り返りながら木目細かでの確なご指導を頂きました事は一生涯の宝であり、この時の事を記した手帳は今でも大きな財産になっています。
- ⑤ :大切な試合で判定を下し、自分で決断しなければならないことにプレッシャーはありますがそこにやりがいがあること、そして、多くの試合に携わる中、1つとして同じ内容がない一期一会の瞬間に審判団として立ち会えることに最大の魅力を感じております。



① :西本 滋一(にしもと しげかず)

- ② :1995年に4級を取得、1998年に3級を取得し、審判活動を約23年間続けています。この9月24日現在で、担当した試合数が900試合を超えました。各カテゴリーを担当しましたが、ここ数年は、地域の4種の試合を担当することが多いです。
③ :息子が小学生の時に地域のチーム(初石少年サッカークラブ)にお世話になったことから、「お父さんコーチ」を経て審判活動を始めました。
④ :県の派遣割り当てをいただき社会人の試合を担当するようになって数年間は、帰りの車中で自分の判定を振り返り、毎回のように「黄昏」ていたにも拘わらず、翌週には何事もなかったように割り当てをいただいた試合に出かけていました。気持ちの切替えが上手かったのか神経が図太いのかは不明です。

審判活動を続けて嬉しかったことですが、流山市内の3種・4種出身の選手が、進学や就職後もサッカーを続けていて、その選手と県の社会人リーグの試合で再会することが多くありました。その際に「〇〇中学でお世話になりました。」とか「ボクのこと覚えていますか？」等と声を掛けてもらったことが、何よりも嬉しかったです。

毎週のように試合に出かけますので、デスクワークするサラリーマンとは思えないほどの日焼け顔が少し恥ずかしいです。

- ⑤ :今後も体力と気力が続くようトレーニングに努めて、選手たちの安全で楽しいサッカーをお手伝いしたいと考えています。その結果、1,000試合の達成が出来れば更に嬉しいです。



① :相川 卓也(あいかわ たくや)

- ② :3級になってから5年、審判歴は10年選手です。
③ :当時小学生だった息子の帯同審判として資格を取ったのがきっかけです。
④ :いろんな事をやらかして訳が分かりません
⑤ :4種から社会人まで、素晴らしいパフォーマンスを特等席で見られます。





- ① :中嶋 文男(なかじま ふみお)
- ② :2000年から活動を開始し、今年で18年目です。
- ③ :長男が始めたことから所属チームの要請で審判員となりました。
- ④ :色々ありますが、やはり審判を始めて暫くはファールを取れなかったこと。サッカー経験が無かったので中々判断できなくて笛が吹けませんでした。3級を取得してから、とある大会でフリーキックを蹴らせたところそのボールはキーパーが手を出したものの触れることなく直接ゴールへ。自信を持ってノーゴールとしたところ、波紋が起きました。試合後も詰め寄られたことが今でも忘れられない出来事です。
- ⑤ :多くの選手に接し、間近ですばらしい試合を見ることが出来ること。またその中の選手たちが更に大きな大会で活躍している姿を見られることです。これからも多くの選手たちの活躍を期待しながら審判をして行きたいと思います。

- ① :喜瀬 敦(きせ あつし)
- ② :8年(2011年取得)
- ③ :子供が所属していた少年団での活動において必要となり取得しました。でも、その頃は自信が無く審判をするのが嫌でいつも誰かに代わってもらっていた為、4種の審判経験はほとんどありません。積極的に審判活動をするようになったのは、知人が所属するチームの帯同審判で活動するようになってからです。
- ④ :これまでの審判活動を振り返ってみて印象に残っていることは、3級に昇級できた時のことで、ギリギリの点数での合格だったのでとても嬉しかったのを覚えています。
- ⑤ :選手と共に試合に参加していることが楽しいです。毎度、責任を感じながら準備をして試合に臨む緊張感が好きです。審判活動をしていて、出会いが広がるのが嬉しいです。



- ① :杉山 裕児(すぎやま ゆうじ)
- ② :14年
- ③ :子供が地元(習志野市)の少年サッカークラブに幼稚園の年長からお世話になり、小学校3年時に招待試合で担当コーチが昼食を食べる時間も無く、子供たちの世話をしているのを見て少しでもお役に立てればと思い資格を取得しました。
- ④ :毎回「今日は完ぺきなレフェリングだった」ということはありませんが、その中でも試合終了後に「ナイスレフェリー」と声を掛けて頂いた時です。
- ⑤ :色々な会場に伺って審判を行う機会が多いことから、審判活動されている方を含め、サッカー関係者と幅広い交流ができることです。

- ① :小出 俊幸(こいで としゆき)
- ② :13年
- ③ :息子が小学生時代に入部したクラブのお手伝いが始まりです。
- ④ :活動2年目、初めての实技講習で主審をした試合。ボールを追いかけるだけで、ファールをとれず大荒れになってインストラクターにお叱りと激励を貰ったこと。
- ⑤ :日常にはない試合前の緊張と、競技者の熱いプレーを間近で感じる事が出来ること。



皆様 お元気で暮らして下さる様に

○●平成30年度 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会決勝戦●○

2018年11月18日(日) 13:05キックオフ ~フクダ電子アリーナ~
 流通経済大学附属柏高校 2(1-0、1-0)0 市立船橋高校
 R: 大川 直也 氏 A1: 鈴木 悠介 氏 A2: 菊池 俊吾 氏 4th: 高崎 昂史 氏



左から…
 松崎氏、鈴木氏、大川氏、
 高崎氏、菊池氏

県内で活動されている審判員に一言お願します！

Naoya Ookawa



仕事と家庭を両立して、
 そしてサッカーが好き
 で一生懸命努力する事
 が大事だと思います。
 皆さんと一緒に試合を
 担当出来る事を楽しみ
 にしています。



Yusuke Suzuki

目標をもって、一緒に
 頑張ってください。

千葉県の選手は、他
 県に比べてレベルが
 高いと言われていて、
 審判員のレベルも上
 げていかなければな
 らないと思うので、
 お互いに日々、努力
 してレベルを向上し
 ていきましょう。

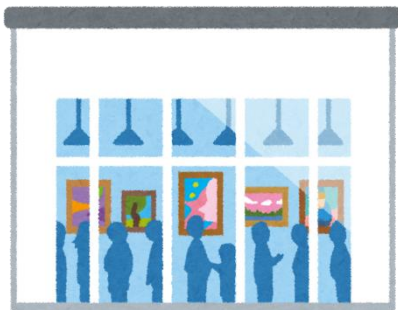
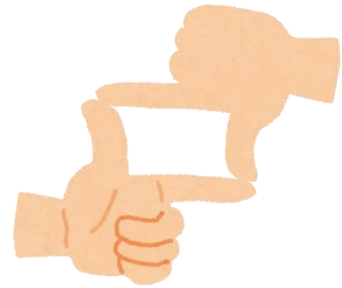


Shungo Kikuchi



Koushi Takasaki

決勝という大舞台に
 立たせていただいた事
 をとても感謝しており
 ます。



○●第24回 全日本フットサル選手権大会 千葉県大会 決勝●○

2018年11月23日(金) 15:00キックオフ ~千葉県総合スポーツセンター体育館~
FCmm 4(3-1, 1-0)1 Corvos FC
R: 藤崎 翔平 氏 2ndR: 木村 拓 氏 3rdR: 笹平 宏之 氏 TK: 徳江 崇 氏



(左から 徳江氏、木村氏、藤崎氏、笹平氏)

関東大会へと続く千葉県の決勝戦。フットサル特有の目まぐるしく変化する試合展開を、経験豊富な審判団が見事にコントロールしていました。終盤のパワープレー時には第3審判が反対側のゴールラインを監視するなど、サッカー以上の審判チームの協力を見ることができました。関東大会は2019年1月に茨城県で開催予定なので、(一社)関東サッカー協会のホームページをチェックして観戦に行くのはいかがでしょうか。



2019

2018年度第2回関東フットサル審判員研修会レポート

フットサル2級 中村 翔

平成30年11月23日(金)～25日(日)、12月1日に山梨県にある昭和町総合体育館で、JFA第24回全日本U-15フットサル選手権大会関東大会及び第9回全日本U-15女子フットサル選手権大会関東大会が行われ、関東地域の審判員を対象とした2018年度第2回関東フットサル審判員研修会に参加させていただきました。

男子8名女子3名計11名の研修生が参加者し、関東サッカー協会フットサルビーチサッカー部会及び1級インストラクターの7名の講師の方々によりご指導いただきました。

審判研修は11月23日(金)～25日(日)の3日間で行われ、1日目に昭和町総合体育館に集合して顔合わせから始まり、夕方まで関東フットサルビーチサッカー協会強化育成部長松井隆氏のもと、講義や競技規則テストを行いました。夕方からは山梨県協会の方々とは大会用のピッチ作りを実施後に、作成したピッチでボールと笛を使い決められた条件で笛を吹く頭の体操や、地元チーム協力のもとで、コーナーキックの監視や終了ブザー前後のシュートの見極め、際どい得点の見極めといったプラクティカルトレーニングを行いました。

2日目と3日目は大会の審判を実施し、各インストラクターからアセスメントを受けました。個人的には、今大会の第一試合目を担当させていただきました。第一試合から白熱した試合展開で担当していてやりがいを感じました。しかし課題は山積みで、手の不正使用、アドバンテージのタイミングや声(近年「プレーオン」ではなく「アドバンテージ」と言うなど細かい部分まで指導していただき、今後改善・向上をしていくためのアドバイスをいただきました。また、キックインやコーナーキックで再開する際に、蹴るポイントを示して相手競技者を5m先に離すことで試合時間をコンパクトにし、スムーズな再開ができること、サイドステップや細かいポジション修正をすることで、次のシーンへの移動やカウンターなど瞬時の移動が必要なシーンでも視野のぶれや身体の動きを最小限にとどめることができ、判定や対応がしやすくなるなど、今研修会では改めて実感し、新たな考え方を学ぶことができました。

今研修会で他都県協会の審判員との交流など普段と違う環境や意識をもつことができ大変有意義な3日間でした。

今回の関東研修会参加にあたり、関東サッカー協会、山梨県サッカー協会、千葉県サッカー協会、大会運営関係者の皆様にご配慮いただき心より感謝申し上げます。

研修



フットサル3級 奈須 聡子

この度、2018年11月24～25日に山梨県昭和町体育館にて行われました関東フットサル審判員研修会に参加させていただきました。

前日23日より研修がありましたが、自身の都合上24日より合流となりました。両日、朝のモーニングトレーニングから始まり、朝食後会場に移動し、ピッチ確認、ミーティング、割当確認がありました。

ミーティングでは前日の復習を含め、〈反則はどのようなタイミングで起こるのか〉〈再開方法〉の説明や、〈手の反則〉〈攻守の切り替わりで起こる反則〉等を映像で見ながら確認し、選手面、審判面の両面から学ぶことができ、良いイメージを持って試合に入ることができました。

いつも以上に緊張しましたが、両日第2審判と第3審判を精一杯務めさせて頂きました。研修会に参加している審判員のほとんどが経験豊富な2級の審判員で、第3審判は初めてでしたが、一緒に組ませて頂いた審判員の方にフォローして頂き、務めることができました。試合後にはインストラクターの方よりご指導いただき、大変勉強になりました。

初日の反省点として、〈キックインのスムーズな再開方法〉〈目標地点に追いつくため、体力を消耗させないための走り方〉をアドバイス頂き、翌日はアドバイスを意識して取り組み、スムーズに試合を進めることができました。

最後に『チームの利益はシュートを打つことではなく、得点をとること!!』インストラクターによるこの言葉がとても印象に残りました。私は審判活動を始めてからずっと〈反則を見極めること〉が課題です。相手競技者の何らかの力によって体勢が崩れてしまっても選手が倒れていない場面、迷い、笛を吹きそびれている自分が思い浮かびました。選手の気持ちになり、選手が倒れてない場面でも反則を見極められるよう、今回の研修会で学び感じたことを今後の活動に活かしていきたいと思っております。

そして、他県の経験豊富な審判員の方と交流が深められたこと、ご指導頂きましたこと、このような大変貴重な経験をさせて頂きましたこと、研修会でお会いした審判員、インストラクター、そして千葉県サッカー協会審判員の方々に感謝いたします。ありがとうございました。



2018年度第3回インストラクター研修報告

インストラクター部 五十嵐泰之

期日:2018年9/1(土)・9/2(日)

場所:市原スポレクパーク他、市原市内研修室

内容:県民体育大会の試合評価ならびに分析とフィードバックについて

千葉県審判員の皆様こんにちは！日ごろは私自身もリーグだけでなく、県内の試合も審判員として活動させて頂いておりますが、今回は少し視点を変えて“インストラクター”の活動について御紹介させて頂きたいと思っております。新規取得講習や更新講習など講義形式の研修だけでなく、実技更新講習やレフェリーアセッサーなど様々なシーンでインストラクターも活動して頂いております。今回はその中からインストラクターの研修会について御紹介させて頂きます。普段はインストラクターとしてアドバイスすることが多いインストラクターも、「的確に良い点や課題点を抽出できているだろうか？」また「正しく伝わったのだろうか？」など不安に思うことも以外に多いのです。そんな不安な様子が見られない方もいらっしゃるかもしれませんが、審判同様に不安を外に出していないだけかもしれません。そんなインストラクターの研修について下記の通り御紹介させて頂きます。

県民体育大会の9/1～2をお借りして今年度第3回目の研修会を開催致しました。昨年度同時期に行われたレフェリーキャラバンからちょうど1年経過したタイミングでの実施となりました。昨年のキャラバン後、アセスメントミニ研修(SI3自主研修)・試合分析(アセスメント12月・2018年5月)・シーズン開幕前研修(審判員と合同)・話し方に関する研修と関東イントレ(ITスキル)のフィードバック研修を実施して参りました。昨年のキャラバンで学んだことの実践と、今年度2回の研修(評価+話し方)との連続性を持たせ実際に審判員にフィードバックまで行うことで「現場で活かす」ことを目標として実施致しました。

両日ともに少しの降雨はありましたが、暑過ぎず寒くない気候で8:30・10:00kickoffと暑熱対策として早い時間の開始となりました。担当試合ごとにグループで観戦後、個人での評価→グループでの擦り合わせ、フィードバック内容の確認、担当審判員の皆さんへ実際にフィードバックを行い、審判員の方からの熱心な質問に答えていくうちに30分を超えるグループもあるなど審判員・インストラクターともに「もっと上手くなるう！」と意気込みが伝わってくるフィードバックの時間となりました。



(☎試合観戦の一コマ)

審判員の方は9/1はプラクティカルやグループワーク、9/2は映像や講義の研修と1泊2日での中身の濃い研修となっていたようですが、インストラクターも研修内容では負けてはいません。宿泊ではなかったものの、1試合に4人までの小グループによる研修で、個々の意見が出しやすい環境での研修となりました。2日間同内容の研修とはいえ、試合は同じシーン・同じ試合になるはずもなく、次の試合に進むチームを決めるためペナルティーマークからのキックが行われるなどノックアウト方式での試合の難しさもあり、それぞ

れに勉強となるシーンと全体研修での共有など幅広く行われました。

午後はスポレクを離れ研修室内に移動後、各試合でのフィードバックについてディスカッションを行い、より良いフィードバックについて検証いたしました。

グループごとに試合におけるkey incidentや共有事項の発表、またフィードバックの良い点・改善点などを発表致しました。フィードバック者と発表者を変えるなど、より多く研修に関わって頂きました積極的にご参加頂きました。

各グループの発表の様子や実際に講師にも御担当頂き、その試合の様子を共有出来るよう試合映像使って講義を行って頂きました。(試合映像を講義までの間に切り取るのも技術が必要ですが、SI2の方のお力も拝借し、スムーズに研修に移ることが出来ました。)

講師は両日ともに千葉県の事情も良くご存じの大野氏(9/1)と松崎氏(9/2)。見る視点とアドバイスする上で必要/重要なこととお話頂きました。大野氏からは現状のFIFAWCから逆算した若手育成の重要性を、松崎氏からは試合の中で主審だけでなく副審にも目を向けた指導をと、目の前の試合やスタジアムでない会場では主審に目が行きがちなインストラクターへのコメントも頂きました。今、審判を始めようとしている若い方が将来

(☎グループディスカッション後の発表の様子)



日本、アジアを代表する審判員になって頂くきっかけやアドバイスは県内のどの試合で生まれるか分かりませんし、試合は勿論主審だけでなくその他の審判員も重要な役割を担っている。他にも映像からコメントも頂きました。この記事だけではお伝えしきれない程の内容でしたが、それは参加インストラクターが今後の指導に活かして頂けると確信しております。

他にもSI2候補のインストラクターが実際に試験で行うプレゼンも実施致しました。本番より少し短めの時間設定としたせいか、難しさや応援の意味も込めた厳しくも暖かいアドバイスが講師だけでなく参加者からも多く聞かれました。試験同様に簡単な評価やコメントも頂きましたが、候補の方も数日前にお願いしたにも関わらずプレゼンを映像入りのパワー

(P プレゼンの様子)



ポイントまで御作成頂く本気度で臨んで頂き、本番に向けた良い機会になればと思えました。候補者としての練習だけでなく、実際に審判員の方に聞いて頂く良い講義であったとも感じました(実際にそのような感想も頂きました)。是非試験だけでなく今後の県内での活動時にも活かして頂ければと思います。

試合分析、フィードバック、講義、プレゼンなど1日で非常に多くの研修を行いました。朝早くから夕方までの長時間となりましたが、参加インストラクターはとても熱心にご参加頂きました！

上記のように審判員だけでなくインストラクターも日々勉強しながら皆さんに、また県内のサッカーの向上を目標に取り組んで頂いております。「インストラクターに指摘されるから嫌だな…」と食わず嫌いをするのではなく…

- ・分からないことを聞いてもっと上手くなろう！
 - ・インストラクターからのアドバイスも参考にしながら、次の試合を今日より良いものにしていこう！
- と前向きに話し合いをして頂けると幸いです。

試合会場や更新講習など時間に限りがある場合もございますが、短い時間でも何か得られるものはあると思います。今日の試合の振り返りと次への準備に向けて、インストラクターも皆さんと同じように努力しています。

審判員・インストラクターが協力し、千葉県がサッカーが発展していけるよう前向きに取り組んでいきましょう！
今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



☆☆昇級審査 合格者(敬称略)☆☆

《サッカー2級》

亀井 環

《サッカー3級》

朝倉 崇光、太田 和翔、齊藤 直也、佐々木 勇人、高橋 迅、高松 周哉、谷川 卓、豊田 英司、西島 克久、
花井 力輔、浜 誠治、早川 俊、日出山 克彦、吉田 一宏、渡部 英司

《フットサル3級》

白石航己

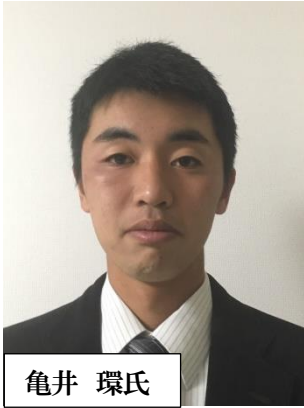
《サッカーインストラクター2級》

村上 匡



おめでとうございます！！今後の活躍を期待しております！！





亀井 環氏

皆様、こんにちは。
船橋市の亀井と申します。
この度、千葉県サッカー協会
審判委員会から推薦していた
だき、サッカー2級審判員に
なることができました。

私のような人間が2級審判員になれたのは、山岸委員長をはじめ、千葉県の
審判委員会の育成部、強化部の方々、船橋市の審判委員会の方々など沢山
の方のご指導があったからだ強く感じております。厚く御礼申し上げます。
船橋市では昇級は通行手形とされています。

これから先、真の2級審判員として認めていただけるように精進していきたいと思ひます。

今後ともご指導のほどお願いいたします。

最後に告知です。船橋市サッカー協会審判委員会では毎月第1木曜日にレフリートレーニングを開催しております。毎回、小学生から60代の方までご参加いただき、体幹トレーニングやプラクティカルトレーニングなどを行ってまひす。詳しくは船橋市サッカー協会審判委員会のHPをご覧ください。

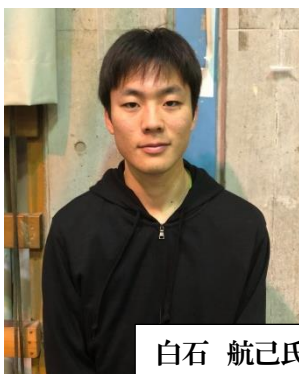


3級審判員・昇級認定審査を受け、無事に合格することができたのは日頃お世話になっている関係者の皆様、特に松戸4種委員会の皆様のおかげであり、改めて感謝申し上げます。

日頃、4種を中心に活動し審判をする中で、知識不足を感じていたものの、なかなか競技規則をじっくり眺めて…とはならなかったのが正直なところまひす。そんな中、松戸4種のトレセン活動を通じて様々な大会で審判を行う機会が増えたことに加え、審判部の活動にもお声かけをいただき、多くの上級審判の方々とは接する機会をいただきました。このような環境の中で刺激を受け、今回の昇級認定審査を受けることを決意しました。昨年度までの教え子(現在の中1)と一緒に審判活動を行うことになったので、彼らに良い格好をしたかった、という気持ちも正直ありますが…。今回の合格に満足することなく、これからも皆様からご指導をいただきながら、選手のために常に成長し続けられるよう、日々努力していきたいと思ひます。



谷川 卓氏



白石 航己氏

今回3級審判に合格して一番感じていることは、審判の大変さまひす。私はまだ審判経験は多くはないですがその少ない経験の中でも難しいなと感じていまひす。例えばファールが微妙な時にファールを取るべきかどうかとか、自分でプレーしている時とは別の視点で見なくてはならないことなどがあります。これから審判をしていくにあたってこれらのことに注意しながら技術を向上できるように頑張りたいと思ひます。



10月号では、ユース研修会の様子をお届けいたしましたが、今号からは新企画！

ユース研修 OB/OGの今を探ってお届け致します。第一回目の今回は千葉県のトップレフェリーの一人、松田卓磨さんを取材します。競技規則の裏表紙にも載っている2級審判員の松田さんがユース研修に参加していた頃を思い出しながら取材に応じてくれました。

★ユース研修

OB/OGの今★



Q:関東強化審判員との事ですが、読者の皆さんにどのようなカテゴリーなのか教えて下さい。またどのような試合を主に担当されますか。

現在は関東で3名いるG2というカテゴリーに所属しています。カテゴリーは1級審査受

験者のG1からG8まであり、約900名いる関東の2級審判員から各都県から20人前後、合わせて関東全体でも150人程度が強化指定されています。

試合は主に関東サッカー協会主催大会で主審を担当しています。具体的には関東リーグ、関東大学リーグなどです。副審ではJFLをはじめ、もちろん千葉県内で行われるリーグ戦等も担当します。

Q:関東150人の中で3番手ですか！凄いですね。松田さんが参加していた頃のユース研修について教えてください。

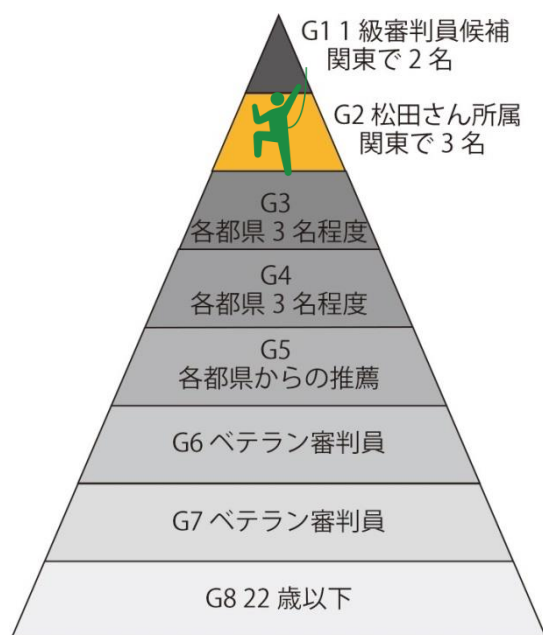
2005年から高校の3年間参加しました。高校1年の6月に3級に昇級して、本格的に割当を受け始めた頃でした。当時はユース研修の創設期であり、現在と同じ夏に宿泊を伴う研修で担当の中間さんにお誘い頂いて参加しました。



Q:研修での大失敗は？

U-15の高円宮杯を担当したのですが、交代要員がフィールドに入るのが早かったので「無許可侵入」で警告しました。(笑)。またキックオフの立ち位置が逆だった事を、そのときのインストラクターの方に指摘され「Jリーグの審判がやっていたので！」と返答してしまいました。若かったと思います(笑)。

Q:それは大失敗ですね(笑)その失敗を乗り越えての若い頃の武勇伝は？



武勇伝というと大層な話で、そんな話は持っていませんが、大学1、2年で参加した全日本少年サッカー大会は、良い経験であったと思います。2年目には決勝戦の主審を担当しました。自分は「緊張」という言葉を知らないのですが、テレビ中継もされ、観客も多い注目の試合を、20歳前後で落ち着いて担当出来たことは、どんな状況でも心が揺れないという、自分のパーソナリティーを作った1つの要素かと振り返っています。

Q:競技規則の裏表紙に載っている、アレですね。

それがアレじゃないんですよ。あの写真は決勝の主審を務めた年の1大会前に、準決勝で第4の審判員を務めた時の写真なんです。多くの人はあの写真を見て「この人が主審」と思いますよね(笑)。

Q:そうなんですか(笑)その後はどのような形で今の立場に辿り着いたのですか？

今の8グループあるカテゴリーとシステムが違いますが、関東強化審判員にリストアップされ、関東協会主催の試合割当を頂く様になり、研修会にも参加させてもらうようになりました。言うまでもなく、ベースとなる

千葉県の審判活動をしながらです。そんな中、これまでの全てが良い時間…ではなく、失敗を繰り返し、今のG2という立場になりました。



Q:失敗という話がありますが、これまでに審判員を辞めたいと思ったことは？

頻繁にそんな気持ちになりますね。特に近年は。そんなとき、一緒に活動している仲間、審判界に限らず、支えて下さっている皆さんの存在、そして、私がこの世界に足を踏み入れたときの志を思い出すことが力となって、今でも続けられています。投げ出したらどんなに楽になるのだろうか。こんな考えはいつも頭の中にありますね。

Q:志とは？

今も同じ思いですが「将来は世界的に活躍する審判員になってやろう」というものです。だからこそ英語に力を入れている高校、大学に進学し、今は大学職員として留学生のサポートをして英語を日常的に使用する毎日です。

Q:千葉には現在3,500名を超えるユース審判員がいます。松田さんは目標の一人になるかと思います。メッセージをお願いします！また2019年の松田さんの目標を教えてください。

まずは、“松田って誰だ” “知らない” という方が殆どですよ。そんな知らない人からですが、「常にチャレンジすること」が大切です。あのときやっておけば、飛び込めば良かった、と思うのではなく、挑戦したうえで、ポジティブ、ネガティブだった点を振り返りましょう。

守りに入らず、ちょっとでも背伸びして、飛び込むことが成長に繋がると強く思っています。

2019年の目標は、選手の皆さんと一緒に、やっている本人はもちろんのこと、観ている皆さんにとっても、より楽しく、エキサイティングで、魅力的なサッカーの試合を創り上げることです。それを目指すことで、自身の立場も変わってくる、結果がついてくると信じています。

今や1級候補に近い松田さんですら「無許可侵入」で警告した過去があるんですね！

失敗は成功の源。ユースの内に素晴らしい経験をしたからこそ金色のワッペンがもう少しの所にあるのでしょうか。松田さんの活躍を期待しつつ、一人でも多くの若手審判員が本格的に活動して下さることを心待ちにしています。第二回は…あなたかも？知れませんが。

(※文中にあります無許可侵入が必ずしも、警告事項として間違えているわけではありません。)

ここからWebサイト限定！！

オフザピッチの話…。

Q. 今思うとどんな時代でしたか。

A. まだまだ、結果にコミットしていない時代でしたね。自分に甘過ぎました。

Q. ユース期に印象にある出来事や人は。

A. 審判活動は高校1年からしていましたが、もちろんプレーヤーとしても活動していました。高校3年生の冬、全国大会に出場出来たことは、良き日々だったなと思います。全国大会なので、担当頂いた審判員の皆さんは既に1級、もしくは2級トップクラスでしたが、現在、日本のトップレフェリーの方ばかりです。

真剣勝負、本当に紙一重の戦いで全国の頂点を目指す。このような経験を出来たことは、自分の財産だと思っています。

Q. 10年前の自分に一言！

A. 穀に籠るな！周りのこと、小さいことは気にせず、やりたいことにチャレンジしろ！

Q. 今の生活に役立っていること。

A. 日本各地に限らず、国外にも人との繋がりを持てたことですね。審判活動でない時でも、その地に行くときは大変お世話になっています。

Q. もしもやり直せるならどこでどうやり直す？

A. 大学2年の夏から、在籍していた大学と繋がりのあった、カリフォルニア大学(UC)に1年間留学しましたね。大学の英語の先生も、将来を考えたなら行くべきだ、と勧めてくれたのですが、当時の自分は、審判活動が日本で1年間出来なくなるから…とプログラムに参加しませんでした。本当に視野が狭かったですね。今振り返れば、絶対に1年間UCで学ぶべきだったと非常に後悔しています。どれだけの素晴らしい日々が待っていたことでしょうか。

Q. 現在は育成勉強会という形で毎月ユース審判を対象とした研修会があり、夏のユース研修では1級をはじめとした上級の審判員から審判グッズの差し入れもあるようです。

A. 当時は夏の年1回だけでしたし、非常に恵まれていますね。このような環境が当たり前だと思わず、毎回「参加している」ことに満足しないで、1回1回チャレンジし、何かを得て、自身の成長に繋げてほしいですね。その場に身を置いているだけでは、全く意味がありません。

ユース宿泊研修は来年夏頃、また毎月第3日曜日にはユース勉強会を開催しています。
お問い合わせはこちらまで。



育成部/U-18担当 右田智也(みぎた としや)

問い合わせ先:09036914134

Email:t.migita@ab.auone-net.jp



●●認定審査等のお知らせ●●

《2019年度サッカー3級審判インストラクター認定審査について》

2019年度登録のサッカー3級審判インストラクター認定審査につきましては、2019年の4月もしくは5月に審査を実施致します。会場が確保でき次第kickoffにてご案内をさせていただきます。

《2019年度サッカー/フットサル3級審判認定審査について》

2019年度第1回の認定審査は、5月12日(日)に野田市総合公園陸上競技場ならびに体育館にて実施致します。

《2019年度フットサル2級審判推薦審査について》

2019年度第1回の認定審査は、5月12日(日)に野田市総合公園陸上競技場ならびに体育館にて実施致します。

《2019年度サッカー2級審判推薦審査について》

2019年度よりサッカー2級推薦審査方法が変更となります。

2次・3次審査につきましては2018年度と変更はありません。

1次審査(書類選考/筆記試験(記述)/実技(1試合)/講義など)

2次審査(筆記試験(選択)/体カテスト(2級基準))

3次審査(実技審査(公式戦2試合)※1試合で不合格の場合は1試合のみ)



★詳細はWebサイトをご確認ください!

5月12日の1~2か月前より1次審査の申し込みが開始されます。2次審査20日前までには締切となる可能性がありますので、各自ご確認をお願いいたします。

2019年度審判講習会のお知らせ(フットサル)

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

日程は現在調整中です。決まり次第Webにアップいたします。

☆カテゴリー審判員研修会

☆帯同審判員対象フォローアップ研修会

☆F4新規取得認定講習会 (2019年3月4月5月7月に予定しています。)



詳細はWebサイトをご確認ください。

また、サッカーに関しましても、Webサイトにて適宜講習会情報をUPしておりますので、

お見逃しのないよう、こまめにご確認をお願いいたします。



◆各講習会等の申込について(サッカー・フットサル共通)◆

申込方法	<p>●「審判登録Webサイト」 (公社)千葉県サッカー協会ホームページ(http://www.chiba-fa.gr.jp/)から入れますので、各自で行ってください。 (毎日、午前2時頃～午前6時頃まではメンテナンスのためご利用頂けませんので、ご注意ください。)</p> <p>●支払完了画面まで画面の説明をよく読んで進んでください。</p> <p>●申込途中で画面が進まなくなり切断・中止された方、支払完了画面まで行かなかった方、申込みを消ませたが講習会費用を支払っていない方等、受講確定になっていないので再度最初から(受付整理番号は無視して)やり直してください。</p>
申込期限	●「審判登録Webサイト」では、期限を過ぎると申込みが出来なくなりますので、ご注意ください。
注意事項	<p>●当日の持ち物や諸注意は、申込みの際に「審判登録Webサイト」上でご確認ください。</p> <p>●振込みに掛かる手数料については、各自でご負担願います。</p> <p>●講習会受講後に審判証とワッペン等が(公財)日本サッカー協会から送られてきます。</p> <p>●郡市協会主催の更新講習会は、別途会場費がかかる場合がございますので、必ず詳細を確認してください。</p>
問合せ先	<p>(公社)千葉県サッカー協会 TEL:043-310-4888 (審判担当)</p> <p>営業時間:月～金曜日の9:00～17:30</p> <p>※各会場への問い合わせは厳禁とします。</p>



《休止・降級の方法》

審判資格を休止したい方、2級から3級、3級から4級など降級を希望する方は、下記の手順で申請をしてください。

(1) 休止申請

- ①更新講習会は、受講しないでください。
- ②休止する理由(長期療養・長期海外出張・その他)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。
休止申請書の記載内容(書式はありません)
 - a. 審判番号
 - b. 氏名
 - c. 休止理由
 - d. 休止期間
 - e. 休止期間中の連絡先電話番号(必ずつながる電話)
- ③休止復活する際は、(公社)千葉県サッカー協会に電話連絡してください。



(2) 降級申請

- ①現在の級での更新講習会は、受講しないでください。
※更新講習会を受講されてしまった場合は、降級できません。
- ②降級申請書(書式はありません)を(公社)千葉県サッカー協会に申請する。
降級申請書の記載内容
 - a. 審判番号
 - b. 氏名
 - c. 降級希望の級(1級→2級、1級→3級、1級→4級、2級→3級、2級→4級、3級→4級)
 - d. 連絡先電話番号(必ずつながる電話)

※降級申請した後で元の級に戻るには、現状の昇級審査が必要となります。
1級の方が4級に降級された場合は、3級の昇級審査に合格し、2級の昇級審査に合格し、1級の昇級審査に合格いたしませんと元の級(1級)に復活できません。

(3) 申込方法

- ①申込期間: 2019年2月20日まで
 - ②申請書送付先
〒260-0013 千葉市中央区中央3-9-16三井生命千葉中央ビル1階
公益社団法人 千葉県サッカー協会 審判担当 宛
- ※不明な点がございましたら、直接(公社)千葉県サッカー協会 電話043-310-4888 に連絡してください。

連載開始！！～第1回～

☆試合前の打ち合わせって何しているの？

皆さん、試合前にレフェリーチームとして打ち合わせはしていますか？
試合中、いいチームワークをするためには欠かすことができないものですよね！？過去にレフェリーニュースでもご紹介していますが、具体的にどのようなことを確認したらいいのかを改めて確認しましょう！

- 1.自己紹介
- 2.主審、副審、第4の審判員の確認
- 3.大会要項の確認
- 4.試合前の用具チェック場所の確認、開始時間、各審判員の役割
- 5.時計の時刻合わせ
- 6.主審のとる対角線と副審サイドの確認
- 7.反則の合図
- 8.オフサイド及び副審の合図
- 9.ゴールインの合図
- 10.スローインの監視の分担
- 11.FK時の対応
- 12.第4の審判員との協力
- 13.重大な場面での役割分担
- 14.試合の記録
- 15.試合終了時の合図
- 16.試合終了後のフィードバックの場所と時間

2017年7月号は
こちらから！！
切り取って
ご活用ください！！



試合のリーダーは主審です。試合を成立させるには、試合中どのようなチームワークを発揮すればいいのでしょうか。主に上記の内容に添って主審が打ち合わせを進めましょう。副審、第4の審判員と分けて伝えるとそれぞれが何を願われているのがわかりやすいでしょう。

※2017年7月号には記録ケースに入れられるサイズに切り取れるものが載っています。Webサイトからダウンロードできますので、ご活用ください！

各項目の詳細は次号からご紹介します…☆彡

☆第4の審判員の職務って??

皆さん、第4の審判員を担当する時に、迷いながら行われている方も多いのではないのでしょうか？
2017年10月号でもご紹介いたしましたが、第4の審判員の職務についてご紹介致します！

①会場入り

会場には他の審判員同様、決められた時間までに入ります。
運営役員やチーム関係者、他の審判員とも顔を合わせたら挨拶をしましょう！

②準備

★打ち合わせ★

試合開始前には主審を中心に打ち合わせが行われますので、しっかり第4の審判員の役割を確認します。
主審や副審が第4の審判員に何を求めているのか、何を協力してもらいたいのかを確認できるといいでしょう。
試合中に、他の審判員がその任務を続けることが難しくなった際に、どの役割を引き継ぐことになるかも確認して準備をしておきます。

★試合で実際に使う道具を確認します★

試合球が何球で行われるのか？使用する全てのボールが競技規則第2条の要件に適合されているかを主審や副審と一緒に確認します。要件に適合されていない場合は、適合されるように準備をしましょう。

アシスタントフラッグや交代ボードも準備されているか確認します。

慣れていない方は、交代ボードの数字を作る練習をしておくといいですね。

担架要員がいる場合にはどういう時に準備をして欲しいか、どういう時にピッチに入ってもらうのか等も打ち合わせが必要です。

試合中のことを記録するメモ用紙なども準備しておくくと便利です。



こちらもつづきは次号…☆彡



★★★永年表彰のお知らせ★★★

(公社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、2019年4月1日現在で20年間並びに30年間、審判活動を続けられた方の表彰を行います。

該当する審判員の方(自薦他薦を問いません)は、2月15日(金)までに、

氏名、住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス、登録年月、審判登録番号、および活動状況を記載の上、下記までご連絡ください。

e-mail:ta_da_shi1985@yahoo.co.jp

メールがご使用になれない場合には、下記まで郵送をお願い致します。詳細についてのやり取りの関係上、なるべくメールでのご連絡をお願いしております。

〒260-0007 千葉市中央区祐光 1-14-1 大林フローラ407 村上 匡 宛



5月に表彰を行う予定です!



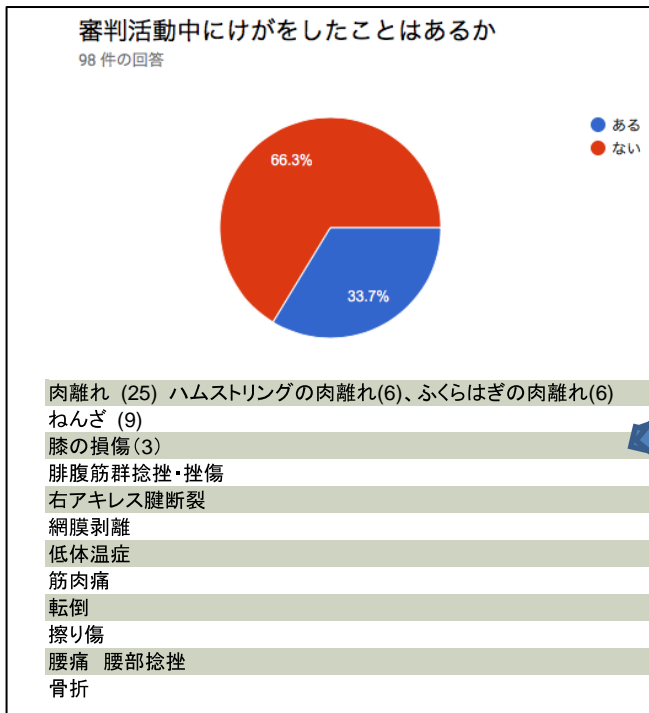
※去年行われた表彰の写真です。

レフェリーフィットネスコラム



Referee Physical Coach
牛尾真一郎

千葉県内の派遣審判員の方対象に、フィットネストレーニングについてのアンケートを実施させていただきました。100名ほどの方に回答をいただきました。ほとんどの方は3級審判員です。年齢も普段担当されているカテゴリー、担当試合数も様々です。今回は前回の続きです。



怪我の種類では、肉離れ、捻挫、膝の故障の順でした。肉離れは6割以上を占めています。

筋肉が伸びたり縮んだりすることで、ダッシュをしたり、止まったりすることができています。しかし、筋肉の伸び縮みに、筋肉がうまく対応できない時に、筋肉が断裂し、肉離れが生じます。

肉離れのメカニズムや詳細は、お医者さんに任せるとして、審判として、イメージをもっておくことは大切だと思います。

自分の筋肉をゴムの塊だと思ってください。

次のような時をイメージしてみてください。

- 急にジャンプする。
- 寒い環境の中でいきなり動く。
- 急にダッシュする。



ゴムの塊もそのままだとポキッと折れてしまうかもしれません。温めたり、ゆっくりと力加減を調整しながら曲げたりだと折れることなく、自在に形を変えることができるようになってきます。

「急に」というのがポイントです。ゆっくりとした動作で同じことをしたら問題ない場合がほとんどです。自分の体、筋肉をよく知ることが大切です。

【肉離れが起こりやすい状況】

次のような時が起こりやすいと言われています。怪我なくレフェリングができるように、運動する前にチェックをしましょう！

筋肉の柔軟性が低い

→疲れが溜まったりすると筋肉が硬くなったりします。筋肉の柔軟性低下を予防するために、早く疲労を回復(リカバリー)し、次の試合に備えるために取り組んでみてはいかがでしょうか。

- 毎日の日課としてのマッサージやストレッチ、また、試合後のウォーキングやジョギング、ストレッチ、マッサージ、アイシングなどのクーリングダウン
- 毎日のバランスのとれた食生活、試合後の適切な栄養補給
- 日常生活における睡眠確保や栄養などのセルフコンディショニング

筋力低下

→太ももの後ろ(ハムストリング)、ふくらはぎなど肉離れの発生頻度が高いところを中心に筋力強化を行う。瞬発力、持久力いずれについても向上を目指したトレーニング、左右差のないバランスも改善させます。自宅で自分の体重で行えるもので十分です。

ウォーミングアップ不足

→右の図を参考に、自分なりに組み立ててみてください。時間は、季節にもよりますが、20分程度とれると良いと思います。

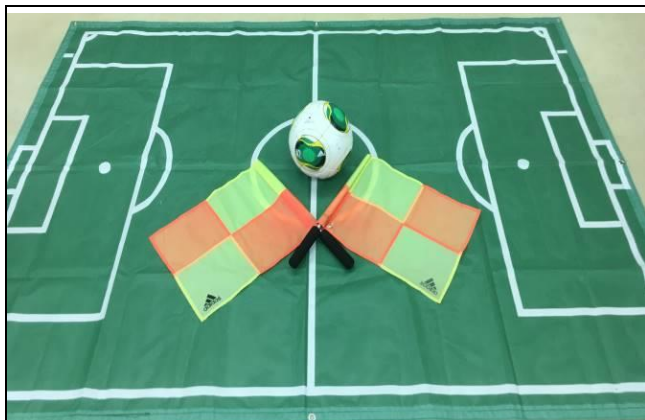
- ① →ジョギングや、縄跳びなど少し汗をジワツとかく程度の軽い運動
- ② →各関節がしっかりと動くようにゆっくりと大きく動かします。
- ③ →スクワット 5 回程度や相撲の四股踏みなど少し筋肉にスイッチを入れるような運動で筋肉を活性化させます。
- ④・⑤→可動域の拡大と筋肉、関節を大きく動かしていきます。反動をつけたり急に動かしたりせず、ゆっくり大きく動かします(腿上げなど)ダイナミックストレッチ(動的ストレッチともいい、足の振り上げなど動きを伴う反動をつけたり、筋肉へ対してDynamicな動きを入れたりするストレッチ)も取り入れ、心拍数もだんだん上げていきます。
- ⑥ →試合中に起こるだろう 10m 程度のダッシュを段階的に数本行います。体の反転からの移動をねらったり、合図に反応したり、敏捷的な動きに対するウォームアップも積極的に行いましょう。

W-up構成の大切な要素

- ①熱の生成 / Thermogenesis
- ②全身可動性アップ / General Mobility
- ③筋腱活性エクササイズ / Muscle Activation
- ④動的な可動域エクササイズ / Transit Mobility
- ⑤クイック動作のエクササイズ / Dynamic Mobility
- ⑥ショートラン～スプリント / Build-Ups

ご質問、勉強したいことありましたらどんどんどご連絡ください。


JFA Referee Physical Coach 牛尾真一郎 ushishi2010@gmail.com



広告主さま募集しています。

- ・千葉県内約1万3千名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- ・この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申し込みは…(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL:043-310-4888) にご連絡をお願いいたします。

編集後記 今年で審判活動を始めて20年。あの頃はユース審判員制度なんていうものはなかったもので、今の環境が羨ましいな～とか、ユース年代の審判員が増えたなあ～と、しみじみ感じます。最近は4級の審判員の方々とお会いする機会も多いので、初心を忘れるべからず！と4級だった頃を思い出したりするのですが、ルーズソックスにミニスカートで研修に参加していたなんて。。。今考えると、、皆さんの寛大さに感謝です。 

レフェリーニュース編集員

木川 綾

長谷川 鉄哉

唐崎 敦好

染田 洋

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail:cfare.somu@gmail.com

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>